

YOUはどうして 政治家に？

町田から
日本の子育てを
変えるために
2期目に挑戦

✓ 選挙に行かない、政治無関心層でした



実は、つい5年前まで私も政治に無関心でした。地元の北海道を離れての「孤育て」に苦労しましたが、子育ての問題と政治は、当時の私には全く結びつきませんでした。

✓ 問題に気が付いたなら、見過ごせない！

ところがある日、自身の子育てを通して保育園の安全対策について疑問に思うことがあり、今の政治は選挙権のない子ども達の目線が足りていないと感じました。自らが議員となり、この町田市から全国の子どもたちやその保護者を取り巻く環境を変えていくことを決意しました。

しがらみなく戦うため、無所属で立候補し当選。あれから4年が経ちました。

✓ 町田から日本を変える4年にしたい

4年間市議として様々な問題を見つけ、解決の提案を行い、実際にたくさんのことを変えました。ですが、これらは大概町田市だけでの問題ではありませんでした。また、どうしても市独自に取り組むのはハードルが高い政策もあり、国が統一指針を示す必要があるのにとヤキモキすることも非常に多かったです。そこで、次の4年は、本気で政治家として国を動かす一人となる覚悟を決めました。

✓ 日本維新の会への入党を決意

日本維新の会は、企業や団体から寄付を受けず、しがらみに左右された政治判断など言語道断という、私の政治信条にピッタリの政党です。党役員会のオンライン公開など、オープンな党運営は、「政治家は隠された場所で話し合うと正しい判断ができなくなる」と考える私には、最高の環境です。日本維新の会には、超党派で共に仕事をする機会が多く、心から尊敬する松本杉並区議、藤條多摩市議もあり、この方々となら維新の会を通して国をも動かしていくのではと、1人の有権者として支持してきた日本維新の会への入党を決意しました。

✓ 勇気と責任のある 政治判断をして参ります

自分や身内の利益を優先し正しい道を選べなくなった時、選び続ける自信がなくなった時、私は議員を辞めようと決めています。引き続き、誰に媚びることもなく「最小の経費で最大の効果」をあげること(地方自治法第2条)かつ「投票権のない子どものための政治」をど真ん中にかけ、勇気と責任ある議員活動を続けて参ります。



✓ 入党後の、議案への議決態度について

日本維新の会は、地方のことは各地の事情を踏まえて地方議員が判断していくべきと考える地域政党であり、今後もこれまで通りに自らの意思で議案への賛否はもちろん、議員としての活動を行って参ります。なお、日本維新の会では、これまで、議員や公務員の身分保障(給与や報酬に関する議案)以外は、党としての判断が下りることはませんでした。今後も、是々非々で歩み続けます！